

JBL PLAYLIST

取扱説明書

安全上のご注意

- 使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

	警告 この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
	注意 この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。
	■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。 禁止(してはいけないこと)を示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。
	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
	触れてはいけないことを示す記号です。

	警告 ACアダプタは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。万一方の場合、ACアダプタを容易に引き抜くためです。
	付属品以外の電源コードは使用しない。火災の原因になることがあります。
	付属品の AC アダプタを他の機器に転用しない。火災の原因になることがあります。
	船舶などの直流 (DC) 電源には接続しない。火災の原因になります。
	電源コードを束ねた状態で本機を使用しない。火災・感電の原因になります。
	電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。電源コードが破損して火災・感電の原因になります。
	電源コードが破損した場合(芯線の露出や断線など)には、販売店または弊社サービスセンターに交換(有償)を依頼する。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
	タコ足配線しない。発熱により火災・感電の原因になります。
	テールタップ(延長コード)を使用しない。発熱により火災・感電の原因になります。
	音が鳴りはじめたら、電源アダプタには触れない。感電の原因になります。
	電源コードの上に乗るものをのせたり、電源コードを本機の下敷きしない。電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
	注意 薬物厳禁 ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また、接点復活剤を使用しない。外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

	注意 ほこりや湿気の多い場所に設置しない。ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因となります。
	不安定な場所や振動する場所に設置しない。本機が落下や転倒して、けがの原因となります。
	注意 移動するときは電源スイッチを切り、すべての接続を外す。接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。
	薬物厳禁 ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また、接点復活剤を使用しない。外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

Bluetooth® に関するご注意

本機は、2.4GHzの周波数帯の電波を利用しています。この周波数の電波は、一般家庭でもいろいろな機器(電子レンジやコードレス電話など)で使用されています。以下のような場所で本機を使用する場合、送信/受信ができなくなることがあります。・2.4GHzを利用する無線LAN、また電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ。(環境により電波が届かない場合があります。)
・ラジオから離してお使いください。(ノイズが出る場合があります。)
・テレビにノイズが出た場合、本機(および本機対応製品)がテレビ、ビデオ、BSチューナー、CSチューナーなどのアンテナ入力端子に影響を及ぼしている可能性があります。本機(および本機対応製品)をアンテナ入力端子から遠ざけて設置してください。

- △ **注意**
・本機の使用によって発生した損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- ・本機は、全てのBluetooth機器との接続動作を保証するものではありません。
- ・弊社ではお客様の接続機器に関する通信エラーや不具合について、一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

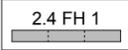
安全にお使いいただくために
・高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは使用しない。電子機器に誤動作するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
・航空機内や病院など、使用を禁止された場所では使用しないでください。電子機器や医療用電気機器に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。医療機関などの指示に従ってください。

ご注意ください! 電子機器の例
補聴器、ペースメーカー、その他医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他自動制御機器など。
ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用される方は、該当の各医療用電気機器メーカーまたは販売業者にて電波による影響についてご確認ください。

電波法に基づく認証について
本機は電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の行為を行うと法律により罰せられることがあります。
・本機を分解/改造すること。
・本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。

周波数について
この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFHSS(周波数拡散方式)を採用し、想定される干渉距離は約10mです。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。
1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、弊社サービスセンターにご連絡頂き、混信回避のための処置等(例えば、パーティションの設置など)についてご相談して下さい。
3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社サービスセンターへお問い合わせ下さい。



電波について

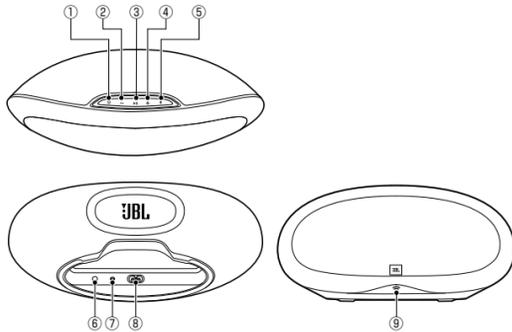
- 本機は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。各国の電波法に抵触する可能性があります。また、本機は、電気通信事業法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。
 - ・分解/改造すること
 - ・本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと
- 本機は電波を使用しているため、第三者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。
- 次の場所では本機を使用しないでください。ノイズが出たり、音が途切れて通常のご使用ができないことがあります。
 - ・2.4GHz用周波数帯域を利用する、電子レンジ、デジタルコードレス電話、Bluetoothなどの機器の近く。
 - ・電波が干渉して音が途切れることがあります。
 - ・ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CSチューナーなどのアンテナ入力端子を持つAV機器の近く。
 - ・音声や映像にノイズがのることがあります。

付属品

お使いになる前に、以下の付属品がすべてそろっていることをご確認ください。

- AC電源コード
- 日本語取扱説明書(本紙)
- 保証書(日本国内用)

各部の名称とはたらき



- ① 電源ボタン (⏻)
本機の電源を入れる/スタンバイ状態にするときに押します。本機の電源が入っているときは白色で点灯し、スタンバイ時はオレンジ色で点灯します。
 - ② 音量ボタン (-)
 - ③ 再生・一時停止ボタン (▶||)
 - ④ 音量ボタン (+)
 - ⑤ Bluetoothボタン (📶)
 - ⑥ リセットボタン
 - ⑦ AUX IN (オーディオ入力) 端子
 - ⑧ POWER (ACアダプタ接続) 端子
 - ⑨ Wi-Fi インジケータ (📶)
- 本機がWi-Fiに接続中、点灯します。インジケータの3つの部分の点灯状態により、Wi-Fi信号の強度を示します。3つの部分のすべてが点灯しているとき、信号の強度は良好です。

ご注意:
本機は背面にパッシブラジエーターを装備しています。
・パッシブラジエーターは振動する構造のため、壁面間近に設置すると、音質によっては効果を得られにくかったり、共振が起こりやすくなります。実際にお試しになって、設置場所を決めることをおすすめします。
・破損の原因になりますので、パッシブラジエーターに手を触れないでください。

接続する

- ① 付属のAC電源コードを、本機のPOWER端子に接続します。
 - ② AC電源コードをコンセントに接続します。
- 本機は国内外の電圧に対応しています。海外でご使用の際は、お使いになる国のコンセントに合った変換プラグが必要になります。



Bluetooth 接続で使用する

Bluetooth機能を使ってストリーミング再生を行うには、はじめに本機とBluetooth対応機器を認識させる「ペアリング」が必要となります。本機と機器を一度ペアリングすれば、その後に再度ペアリングを行う必要はありません。

▶ iPhone/iPod/iPad でペアリングを行う

- ① 電源ボタンを押して電源を入れる。
- ② 電子音が鳴るまでBluetoothボタン (📶) を長押しする。ペアリング設定状態になり、Bluetoothボタン (📶) が点滅します。
- ③ iPhone/iPod/iPad をペアリング設定状態にする。「設定」→「Bluetooth」の順にタップした後、「Bluetooth」を「オフ」から「オン」にします。Bluetoothに接続できる機器の一覧が表示されます。
- ④ デバイスから「JBL Playlist」を選択する。デバイスに「接続済み」と表示され、本機で電子音が鳴るとペアリングが完了します。ペアリングが完了すると、本機のBluetoothボタンが点灯します。



▶ その他の機器でペアリングを行う

以下の手順は一例です。詳細については、接続する機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

- ① 電源ボタンを押して電源を入れる。
- ② 電子音が鳴るまでBluetoothボタン (📶) を長押しする。ペアリング設定状態になり、Bluetoothボタン (📶) が点滅します。

- ③ 相手側機器をペアリング設定状態にする。接続する機器側で、本機を検出可能な状態に設定します。パスキーが必要な場合は「0000」と入力します。一部の機器では、接続を確認するメッセージが表示されます。Bluetoothボタンが点灯すると、ペアリングは完了です。本機は一度ペアリングを行った機器の情報を記憶していますので、ペアリングを行ったあとは、本機の電源を入れ、接続したい機器のBluetoothをオンにするだけでBluetooth接続することができます。

▶ 別の機器をペアリングするには

Bluetoothボタンを長押しします。または、ペアリングしている機器のBluetoothをオフにします。別の相手側機器をペアリング設定状態にし、ペアリングを行ってください。

▶ Bluetooth 接続を解除する

iPhone/iPod/iPad で解除する
「設定」→「Bluetooth」の順にタップした後、「Bluetooth」を「オフ」から「オフ」にします。

その他の機器で解除する

接続している機器をBluetooth設定状態にし、Bluetoothを「オフ」にします。

スリープモード機能について

本機の電源がオンのとき、約10分間音声入力がなく、操作も行われない状態が続くと、自動的に電源がスタンバイ状態になります。電源がスタンバイ状態になったときは、BluetoothまたはWi-Fiを通して再アクティブ化できます。なお、スリープモード機能をオフにすることはできません。

Wi-Fi 接続で使用する

Wi-Fi 接続で使用する場合、必ず本機を Wi-Fi 親機の電波到達範囲内で、Wi-Fi 電波が非常に強いところに設置してください。

スマートホンなどの音源用デバイスの再生音を本機で聴くには、本機とデバイスを同一の Wi-Fi 環境に接続するなどの準備が必要です。そのため、デバイスに Google Home アプリをインストールする必要があります。

▶ Google Home アプリをインストールする

お使いのデバイスのブラウザで「Google Home」を検索してダウンロード・インストールします。Google Home アプリのインストールが終了しても、まだ起動はしないでください。

▶ Wi-Fi 接続する

本機を初めてお使いになるときは、以下の手順でデバイスと Wi-Fi 接続します。(以下の手順は、デバイスが iPhone の場合の一例です。)

- ① 本機の電源を入れます。
- ② デバイスが iPhone/iPod/iPad の場合は、デバイスの「Bluetooth」を「オン」にします。



その他のデバイスの場合は手順③に進みます。

- ③ 音源用デバイスを Wi-Fi に接続します。
- ④ 本機の再生・一時停止ボタン (▶||) を、電子音が鳴るまで 5 秒以上押し続けます。Wi-Fi インジケータ (📶) がゆっくり点滅します。
- ⑤ 音源用デバイスで Google Home アプリを起動し、表示にしたがって操作を進めます。
- ⑥ 本機 (PLAYLIST) が見つかったことを示すメッセージが表示されたことを確認します。画面上にデバイスの管理アイコン (🔌/🔌) が表示された場合は、タップして操作を続けてください。



- ⑦ 表示にしたがって操作を進めます。スキップ可能な手順はスキップしてかまいません。
- ⑧ 本機を Wi-Fi ネットワークに接続するよう促すメッセージが表示されたら、デバイスを接続している Wi-Fi ネットワークを選択します。
- ⑨ 暗号化キーの入力が必要な場合は、暗号化キーを入力します。



Wi-Fi 接続が完了するまで、30 ~ 40 秒程度かかります。

Spotify Connect で音楽を聴く

Spotify には、Spotify Connect 機能があり、この機能を使って本機で Spotify の再生音を聴くことができます。

Spotify Connect 機能を使用するには Spotify Premium (有料) のアカウントが必要です。

まず Spotify のアカウントを作成し、続いて Spotify Premium にアップグレードしてください。

詳しくは Spotify のウェブサイトをご覧ください。

- Spotify 無料版のユーザーは、Bluetooth 接続で本機を使用できます。

▶ Spotify Connect を使う

「Wi-Fi 接続で使用する」の手順実行後、Wi-Fi 接続が完了し、デバイスの再生音を本機で聴くことができる状態になっていることを確認し、以下のように操作します。(以下に示す画面は一例です。)

- ① デバイスにインストールした Spotify Premium で音楽を再生します。
- ② 「接続可能なデバイス」をタップします。



- ⑩ デバイスの管理アイコン (🔌/🔌) が表示された場合は、タップします。キャストの準備ができたことを示すメッセージが表示されたら、準備完了です。



Google Home アプリを終了してください。

これで Chromecast built-in 対応のデジタル配信サービスなどを本機で聴く準備が整いました。

- 音源用デバイスに保存してある楽曲を聴く場合は、Bluetooth 接続または AUX IN 端子接続でお聴きください。

- 本機の電源ボタンを押してスタンバイ状態にしても、次に本機の電源を入れると自動的に Wi-Fi 接続されます。
- AC 電源コードを本機から外したままにすると、Wi-Fi 接続の情報が削除されることがあります。その場合は、Google Home アプリを使い、「Wi-Fi 接続する」の手順①からもう一度操作してください。
- Wi-Fi 電波が弱い、あるいは不安定な場所に本機を設置した場合、Wi-Fi 接続ができなくなることがあります。本機を Wi-Fi 電波の強い場所に設置し、Google Home アプリを使い、「Wi-Fi 接続する」の手順①からもう一度操作してください。
- 接続する Wi-Fi ネットワークを変更するときは、Google Home アプリを使い、「Wi-Fi 接続する」の手順①からもう一度操作してください。

▶ Chromecast built-in 対応のサービスを使う

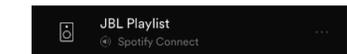
デジタル音楽配信サービスなどで、Chromecast built-in に対応したサービスのアプリをデバイスにインストールし、その再生音を本機で聴くことができます。

Chromecast built-in 対応アプリについては、以下を参照してください。<https://www.google.com/cast/apps/>

Chromecast built-in 対応サービスのひとつに Spotify があります。本機で Spotify の再生音を楽しむには、「Spotify Connect で音楽を聴く」を参照してください。



- ③ 使用可能なデバイス (キャスト先) を選択する画面が表示されたら、本機 (PLAYLIST) を選択します。



▶ ワンタッチプレイ機能を使う

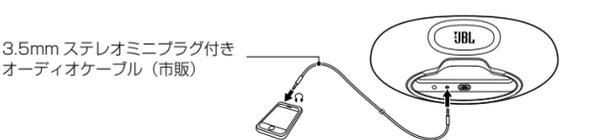
Spotify Premium のワンタッチプレイ機能を使うと、デバイスから Spotify にログインしていない状態でも本機の再生・一時停止ボタン (▶||) を押すだけで Spotify Premium アカウントで再生中の音楽を引き続き本機で聴くことができます。

- ① 本機に記憶させるため、Spotify にログインし、本機で一度音楽を再生します。
- ② デバイス側で Spotify を聴き、再生を停止した後、本機の再生・一時停止ボタン (▶||) を押します。デバイス側で再度 Spotify にログインすることなく、本機で音楽を引き続き聴くことができます。

アーティスト、アルバム、プレイリストなどの選択を変更する場合は、デバイス側で再度 Spotify にログインし、操作してください。

その他のオーディオ機器の音楽を聞く

市販の 3.5mm ステレオミニプラグ付きオーディオケーブルを使ってお手持ちのオーディオ機器・PC に接続し、音声を再生することができます。



トラブルシューティング

原因	解決法
本機の電源ボタンを押しても電源が入らない。	本機が付属の AC 電源コードでコンセントに接続されているかご確認ください。
電源は入るが、音が出ない。	Wi-Fi 接続されているか、または Bluetooth 接続されているかご確認ください。 オーディオ入力ケーブルでオーディオ機器に接続している場合、音量をご確認ください。 オーディオ機器側の再生が一時停止になっていないかご確認ください。
音が歪む。	音量が上がりすぎている場合は音量を下げてください。
Bluetooth でペアリングできない。	お手持ちの機器が本機と対応しているかどうかご確認ください。 別の機器と接続していないかどうかご確認ください。本機は一度ペアリングを行った機器の情報を記憶しています。音楽を再生したい機器を再接続する場合は、近くのペアリングされている Bluetooth 機器をすべてオフにし、本機の電源を入れ直してください。

主な仕様

定格消費電力	30 W
スピーカー構成	57 mm 径フルレンジドライバー × 2
周波数特性	60 Hz - 20 kHz
アンプ出力	15 W × 2
S/N 比	80dB 以上
Bluetooth	Bluetooth4.2
Bluetooth 伝送距離	10m (ただし間に障害物が無いこと)
無線 LAN	2.4GHz : IEEE802.11b/g/n 5GHz : IEEE802.11n/ac
無線 LAN 変調方式	2.4GHz : OFDM、DSSS、DBPSK、DQPSK、CCK、16QAM、64QAM 5GHz : OFDM、BPSK、QPSK、16QAM、64QAM、256QAM
音声入力	Wi-Fi、Bluetooth、外部音声入力 (3.5mm ステレオミニ) × 1
サイズ	高さ : 131 mm × 幅 : 316 mm × 奥行 : 147 mm
重量	約 1.12 kg

ご注意

外装の汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた液を少し含ませた布でふき、その後乾いた布でふき取ってください。



- Bluetooth ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標です。
- "Google"、"Chromecast" および Chromecast ロゴは、Google Inc. の商標または登録商標です。
- Wi-Fi CERTIFIED ロゴは Wi-Fi Alliance の認証マークです。
- "Spotify" および "Spotify" ロゴは Spotify グループの商標です。
- Harman International Industries, Incorporated は、これら商標を使用する許可を受けています。
- JBL は米国およびその他の国々における Harman International Industries, Incorporated の登録商標です。

- ① 3.5mm ステレオミニプラグ付きケーブル (市販) を使って、オーディオ機器・PC の音声出力端子と本機の AUX IN (オーディオ入力) 端子に接続する。
- ② オーディオ機器または PC で音声を再生する。
 - 他の機器と Wi-Fi / Bluetooth 接続している場合、Wi-Fi / Bluetooth 接続が優先されず、オーディオケーブルを使って接続する場合、初めに Wi-Fi / Bluetooth 接続を解除してください。

▶ HARMAN Owners' Club

この度は JBL 製品をご購入いただき誠にありがとうございます。HARMAN Owners' Club (ハーマンオーナーズクラブ) は、ハーマンインターナショナル取り扱い製品ご愛用者のための会員プログラムです。

会員様に向けたさまざまな特典やサービスをお届けします。

<https://www.harman-ownersclub.jp>

このアドレスからアクセスしてください。

携帯電話 (フィーチャーホン) からはご登録できませんのでご注意ください。

▶ アフターサポート

日本国内のアフターサポートに関する情報は、ハーマンインターナショナル株式会社ホームページに掲載しています。

<http://jbl.harman-japan.co.jp/support/>

Tel : 0570-550-465 (ナビダイヤル)

受付時間 : 土日・祝日・年末年始を除く、平日 9:30 ~ 17:30



ハーマンインターナショナル株式会社

© 2017 Harman International Japan Co., Ltd. All rights reserved.

09174000